

大山町企業会計決算

平成 16 年度の企業会計（水道事業、索道事業）決算がまとまりましたのでお知らせします。

水道事業

水道事業（旧大山町分）

平成 16 年度の収益的収支は、収入 112,123 千円で前年度と比較し 11,255 千円の減少となり、支出 127,130 千円で前年度と比較し 16,121 千円の減少となりました。主な要因は、農業集落排水工事に伴う水道工事補償費の内、水道管の資産減耗費の固定資産除却費が前年度と比較して 6,280 千円減少したことによるものです。その結果 15,007 千円の当年度純損失となっています。資本的収支では、収入 86,802 千円に対し、支出 163,114 千円となり資本的収支の不足する額 76,312 千円は過年度分消費税資本的収支調整額 3,134 千円及び過年度分損益勘定留保資金 73,178 千円で補填しました。

水道事業（旧中山町分）

平成 16 年度の収益的収支は、収入 71,488 千円で前年度と比較し 1,211 千円の増加となり、支出 67,982 千円で前年度と比較し 3,978 千円の増加となりました。その結果、3,506 千円の当期純利益となっています。資本的収支では、収入 18,115 千円に対し、支出 32,369 千円となり資本的収支の不足する額 14,254 千円は過年度分消費税資本的収支調整額 1,813 千円及び過年度分損益勘定留保資金 12,441 千円で補填しました。

水道事業（新町分）

平成 16 年度の収益的収支は、収入 2,898 千円、支出 1,296 千円となり 1,602 千円の当期純利益となっています。

水道事業会計

		旧大山町	旧中山町	新町
収益的収入	営業収益	106,982 千円	61,368 千円	2,898 千円
	営業外収益	5,141 千円	10,120 千円	
	計	112,123 千円	71,488 千円	2,898 千円
収益的支出	営業費用	93,088 千円	51,072 千円	1,296 千円
	営業外費用	33,855 千円	16,910 千円	
	特別損失	187 千円		
	計	127,130 千円	67,982 千円	1,296 千円
収支差引		△ 15,007 千円	△ 3,506 千円	1,602 千円
資本的収入	企業債	62,100 千円		
	他会計補助金		12,422 千円	
	工事負担金	24,702 千円	5,693 千円	5,182 千円
	計	86,802 千円	18,115 千円	5,182 千円
資本的支出	建設改良費	125,972 千円	9,167 千円	3,360 千円
	企業債償還金	37,142 千円	23,202 千円	
	計	163,114 千円	32,369 千円	3,360 千円
収支差引		△ 76,312 千円	△ 14,254 千円	1,822 千円

索道事業

平成 16 年度は、平成 16 年 12 月 24 日から平成 17 年 3 月 21 日までの 88 日間、スキーリフト及びスキーセンター（食堂等）営業を行うことができました。12 月下旬まで雪がなく営業が危ぶまれましたが、1 月以降順調な積雪があり、大山全体で 229, 779 人（前年対比 101. 22%）の入込みがありました。

収益的収支は、固定資産売却益や人件費の抑制、原材料仕入れ引き下げ等に努めた結果、34,466 千円の純利益となりました。資本的収支の収入不足は、過年度損益勘定留保資金で補てんしました。

索道事業会計

		旧大山町	新町
収益的収入	リフト営業収益	171,927 千円	
	リフト営業外収益	2,855 千円	56 千円
	附帯事業（食堂）営業収益	36,827 千円	
	特別利益	21,794 千円	
	計	233,403 千円	56 千円
収益的支出	リフト営業費用	148,137 千円	
	リフト営業外費用	3,665 千円	
	附帯事業（食堂）営業費用	47,135 千円	
	計	198,937 千円	0 千円
収支差引		34,466 千円	56 千円
資本的収入	固定資産売却代金	9,075 千円	
	計	9,075 千円	0 千円
資本的支出	建設改良費	977 千円	
	企業債償還金	111,000 千円	
	計	111,977 千円	0 千円
収支差引		△ 102,902 千円	0 千円